

## 砺波市文化会館事業のご案内



### オリジナルミュージカル

## 「ダンシング・ダンス～おどらんまいけ～」

毎年公演を行っているオリジナルの脚本、楽曲、振付によるミュージカル。

今年度の公演は、「ダンシング・ダンス～おどらんまいけ～」。

新たなメンバーで、新たな舞台に挑みます！

#### ▶ チケットのご案内 (税込)

指定席 **1,800 円** (大人・高校生以下共通)

自由席 **1,500 円** 自由席 **500 円**  
(大人) (高校生以下)

となみ芸術文化友の会会員さま 10%割引 (各日2枚まで)  
砺波市文化会館ホールメイトさま 5%割引 (各日2枚まで)

【日 時】 令和8年3月7日(土)  
18:30開演(18:00開場)

令和8年3月8日(日)  
13:30開演(13:00開場)

【会 場】 砺波市文化会館 大ホール



## 「となみのジュニア合唱団」

## クリスマスコンサートを開催しました！

【日 時】 令和7年12月21日(日) 11:00～

【会 場】 砺波市文化会館 多目的ホール



呉西地区の小学生～中学生で結成された「となみのジュニア合唱団」。

10名の子どもたちが7月からのワークショップの成果を発表しました。

指導者である今井幸代先生、伴奏者の松木理恵子先生のご指導のもと、子どもたちのたしかな成長が感じられる温かいコンサートとなりました。

となみ芸術文化友の会

## 友の会だより第66号

2026年1月

〔発行〕 となみ芸術文化友の会事務局 (砺波市美術館内)

〒939-1383 富山県砺波市高道145-1 電話0763-32-1001

新年のご挨拶 「さわらびの」

となみ芸術文化友の会会長 谷口 美都江

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、となみ芸術文化友の会の活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、令和7年度の友の会事業について、5月に総会とその後のコンサート、10月に愛知県豊田市への研修旅行などを行いました。

また、同じく10月に下記の内容で講演会を行いました。地域で活動されている方のお話をとおして、時代の変化や流れを知り、地域のニーズに応じて活動されている方のご尽力と課題などを知ることができました。今後も地域で活動されている方の講演会なども、友の会事業に加えていきたいと思っております。

会員の皆さまにとりまして、となみ芸術文化友の会が楽しく有意義なものとなりますように、今年も企画、立案をして参ります。ご参加をお待ち致しております。



いわ石走る 垂水の上の さわらびの 萌え出づる春に なりにけるかも

志貴皇子 万葉集 卷八 一四一八

(厳しい寒さの冬が過ぎて、石の上を走るように流れる滝、その滝のほとりの蕨が芽を出す春になったことだ。)

## となみ芸術文化友の会事業報告 講演会

演題「子どもを育む地域支援の取り組み ～美術部活動の地域展開の中で～」

講 師：小野 美恵子 (砺波市美術協会理事・地域クラブ支援委員会委員長、となみ芸術文化友の会理事)

ゲスト：岡部 俊彦 (砺波市アートクラブ指導者、砺波市美術協会理事)

：杉野 秀樹 (砺波市美術館館長)

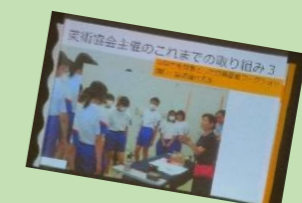
【日 時】 令和7年10月25日(土) 14:00～

【会 場】 砺波市美術館 2階市民アトリエ

【参加者】 23名

今回、将来にわたり、子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して親しむ機会を確保することを目指し進められている部活動の地域展開について、ご講演いただきました。時代の流れとはいえ、様変わりした部活動の現状に様々な思いが巡ったようで、質疑応答では参加者の方より、多くの建設的な意見が述べられました。

友の会としましても、この地域展開について、引き続き検討を深めていきたいと考えております。



## となみ芸術文化友の会事業報告 研修旅行

### 「豊田市のミュージアムゾーン

### 美術館と北隣に誕生した博物館を堪能ツアー」

昨年同様、出発時はあいにくの雨でしたが、途中車窓から見た虹は、幸先の良い知らせであったようで、見学先では好天に恵まれ傘いらずとなりました。見学地については、バス内での説明や、民芸館へ向かう途中で地元の方から「見応え充分ですよ」と伺ったとおり、見どころ満載でした。例年以上に駆け足で見て回ることなった研修旅行でしたが、あらためて訪れたいと思う見学先ばかりでした。

#### 見学① 豊田市民芸館 (30分)

自然豊かな平戸橋公園の一角に位置する豊田市民芸館。参加者の大半は、館全体が常設展示の第3民芸館へと直行。その後、駐車場へと戻る道すがら、土蔵・茶室・第1、第2民芸館等の外観を見学。豊田市内に現存する唯一の明治時代の洋風建築物(旧井上家住宅西洋館)では、脇にあった大きな陶製狛犬に目がいき、後から写真を見て見所のひとつである、玄関上のカブの形をした窓枠を見逃していたことに気づきました。(銀行として利用されていた背景から、株が上がるという縁起を担いだ装飾と言われている。)



狛犬(阿)の口の中に、  
どんぐりを発見!

#### 見学② 豊田市美術館見学 (1時間30分)

まず始めに、高橋秀治館長が美術館の概要と開催中の企画展についてご説明くださいました。その後、開館30周年を記念したコレクション展や、併設の高橋節郎館などを自由に見学。モダンな建物と多彩な作品に圧倒されながらの鑑賞でした。中には、高橋館長から直接作品解説を受けられた方、高橋節郎さんとの縁があり今回の見学を楽しみにされていた方もいらっしゃいました。また、砺波市美術館で、宮脇綾子さんの企画展をご覧になったことがあると、作品に見入っていらっしゃる方も。その他、限られた時間の中で、屋外の茶室でひとときを堪能された方もいらしたとのこと。



#### 見学③ 豊田市博物館見学 (1時間)

美術館から博物館へ徒歩で移動後、豊田市博物館の村田眞宏館長に、令和6年4月に開館した博物館について、スライドを使いながらご説明いただきました。その後、「とよた」にかかわるモノや人々の記憶の展示がされている常設展に案内していただき、見学。入口を進むと迫力満点の展示棚が目に飛び込んできました。遺跡から出土した土器もあれば、昆虫や動物の骨格標本だけの棚、「懐かしい～」と声に出た品々も多くありました。また、外周に沿って2階へ続くスロープからも棚が見え、その展示棚に見入ってしまい、あっという間に時間が過ぎていきました。



## 砺波市美術館 企画展

### 「わくわく美術ツアー! 砺波発・世界紀行」



学芸員 野村 佳也子

砺波市美術館では、1997年の開館以前より作品収集を開始し、現在までに日本画、洋画、版画、素描、立体造形、工芸、書、写真の他、資料を含めて多数の作品を購入や寄贈で収集してきました。

今回は収集作家が故郷や旅先で出会った風景作品を紹介します。故郷の何気ない佇まいから、厳しい自然、街の雑踏や歴史的建造物、誰もが知るような名所旧跡など数々の景色を、砺波市から県内、国内、アジア、アフリカ・ヨーロッパ、アメリカへと遊覧するように展示構成します。

作品に描かれた風景は様々です。複数の交通手段がありアクセスしやすい場所もありますが、徒歩でしか辿り着けない山奥や、交通の便が悪く行き来するのに時間がかかる場所などもあります。また、風光明媚な景色ばかりではなく、厳しい気候の中で生きる人々の暮らしを写しだした風景もあります。

その場へ至るまでの道のりを、スケッチする道具や重いカメラ機材を抱えて移動することを考えると、作家がその風景に出会った感動がより伝わるのではないかと思います。ちょっとした旅行気分を味わいながら、作家たちが表現した風景をお楽しみください。

会 期：2026年1月24日(土)～2月23日(月・祝)  
午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)  
休 館 日：1月26日(月)、2月2日(月)、2月9日(月)、2月16日(月)  
観 覧 料：無料



島田四郎《庄川峡左岸図》1954



島田四郎《庄川峡右岸図》1954



広田南世《在る日の風景》2007



紫藤孝《显京》c. 1982~1984



清原啓一《ハツ峰の秋》1994



下保昭《桜島》1997



高道宏《門》1991



ロバール・ドアノー  
《芸術橋のフォックスステリア》1953



ジャンルー・シーフ  
《ラスベガス》1962



関連イベント  
◆ギャラリートーク  
(申込不要)

期日：2026年2月7日(土)  
時間：午後2時から  
会場：企画展示室